

市独自事業

任意予防接種の費用を助成します

感染症まん延防止や重症化予防、接種費用の負担軽減を図るため、任意予防接種の費用を助成しています。対象となる人は、制度をご活用ください。



問合せ 健康課予防係 ☎ 内線 3171

自己負担額

接種費用から助成額を除いた金額


※生活保護受給者は自己負担なし

その他 過去に同じ種類の予防接種の費用助成を受けた人は対象外。インフルエンザは1シーズンに1回、おたふくかぜは1歳児と年長児で各1回まで助成対象

助成対象の予防接種

子ども 1011964

大人 1011962

	ワクチン	対象	助成額 (1回あたり)	申請方法
子ども	インフルエンザ (10月～来年1月)	生後6カ月～中学3年生	4千円	医療機関に 直接予約
	おたふくかぜ※	1歳児/年長児	6千円	
		20歳未満で、骨髄移植手術などの医療行為により接種済みの定期接種の予防効果が期待できず、再接種が必要と医師に判断された人		再接種に要した費用(原則)
大人	麻しん/風しん※	麻しんまたは風しんの抗体価が低い人で、妊娠を希望する女性や同居人、または妊娠中の女性の同居人など(詳細は市HP参照)	【麻しん風しん混合】5千円 【麻しん】3千円 【風しん】3千円	事前申請が必要 電子申請が できます ▼  申請 フォーム
	インフルエンザ (10月～来年1月)	妊婦/一定の持病がある人	3,800円	
	带状疱疹	50歳以上の人 (定期接種対象外の人)	【生ワクチン】4千円 (1回完了) 【組換えワクチン】1万円 (2回完了、2回接種で2万円)	
	高齢者用肺炎球菌	65歳以上の人 (定期接種対象外の人)	4千円	

※昨年度からの変更点などがありますので、次ページをご一読ください

実施場所

利根沼田地域の予防接種実施医療機関

※実施医療機関はQRコードなどをご確認ください。同地域以外の医療機関で接種を受ける場合は、事前に健康課へお問い合わせください



医療機関
一覧

事前申請について

電子申請または健康課窓口

※子どものインフルエンザとおたふくかぜ以外は、全て事前申請が必要です。**来庁不要の電子申請(上記QRコード)がおすすめです**

〈費用助成の変更点について〉

【助成対象変更】麻しん風しん予防接種費用助成

1002299

麻しん風しんは感染力が強く、重症化や合併症を引き起こすおそれがある感染症です。市はこれまで麻しん風しん混合と風しんを対象に助成を行ってきましたが、対象を拡大し、麻しん予防を目的とした予防接種にも費用助成を行います。また、妊娠を希望する女性や配偶者のほか同居者にも拡大されるなど、対象となる人の条件も拡大されました。制度の内容をご確認の上、ご活用ください。



	4月1日から	3月31日まで
目的	① 新生児の先天性風しん症候群の発生防止と風しんのまん延防止 ② 定期接種前の乳児や、これから生まれる新生児と接する機会が多い家族に対し、麻しんの感染予防や麻しんのまん延防止	新生児の先天性風しん症候群の発生防止と風しんのまん延防止
助成額	・麻しん風しん混合（以下MR）5千円 ・麻しん（以下M）3千円 ・風しん（以下R）3千円	・麻しん風しん混合 5千円 ・風しん 3千円
対象	抗体価が低く、次のいずれかに当てはまる人 ① 妊娠を希望している女性【MR・M・R】 ② 妊娠を希望している女性の配偶者などの同居者【MR・M・R】 ③ 風しん抗体価が低いと診断された妊婦の配偶者などの同居者【MR・R】 ④ 妊婦の配偶者などの同居者【MR・M】 ⑤ 麻しん風しん混合ワクチン定期接種を受ける前の0歳児の同居者【MR・M】	① 妊娠を希望している女性 ② 妊娠を希望している女性の配偶者 ③ 妊婦の配偶者 【①～③いずれも MR・R】
助成回数	予防目的ごとに1人1回まで ※過去にMRワクチン接種費用助成を受けている場合は助成対象外	いずれかのワクチンを1人1回まで

【特例・助成期間延長】おたふくかぜ予防接種費用助成

1012981

ワクチンの供給不足などにより、接種期間内に接種を受けることができなかった人を対象に、接種期間を延長します。

対象 令和5年4月2日～6年4月1日生まれ／平成31年4月2日～令和2年4月1日生まれ（接種済みは対象外）延長期間 来年3月31日（水）



〈定期接種の新規・変更について〉

【新規】RSウイルス感染症定期接種（母子免疫ワクチン）

1017660

母子免疫ワクチン

妊娠中にRSウイルスワクチンを接種することで、胎盤を通じて赤ちゃんに抗体が移行し、RSウイルス感染症の重症化を防ぐ効果が期待されます。

RSウイルス感染症

乳幼児を中心に流行する呼吸器感染症を引き起こすウイルスで、生後1歳までに50%以上、2歳までにほぼ100%が少なくとも1度は感染するとされています。生後6カ月以内の初回感染は、重症化する可能性があります。

対象 妊娠28週0日～36週6日までの人（接種日の妊娠週数が基準）

※対象者へ通知

自己負担 なし（対象から外れると3万円程度の自己負担が必要）

接種回数 妊娠ごとに1回

その他 予診票は郵送、または母子健康手帳交付時にお渡しします。詳細は市HPをご確認ください。不明な点はお問い合わせください



【ワクチン変更】高齢者用肺炎球菌定期接種

1002298

ワクチンがより効果が期待できるものに変更となり、4月1日以降に接種する場合、自己負担額が右表のとおり増加します。昨年度に予診票が送付された人は、今年度以降も同じ予診票で継続して使用できます。

対象 接種当日65歳の人（対象者へ通知）
接種回数 1回



	4月1日から	3月31日まで
ワクチン	20 価肺炎球菌結合型ワクチン 商品名：プレベナー 20	23 価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチン 商品名：ニューモボックス NP
自己負担額（市助成額）	4千円 （8千円程度）	3千円 （6千円程度）